

JEITA バッテリ動作時間測定法・測定条件（2020 年上期／5 月発表モデル）

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

■測定法

JEITA バッテリ動作時間測定法(Ver.2.0)に準拠し、
測定法 a, b の結果の平均値を駆動時間としています。

駆動時間=(測定法 a+測定法 b)/2

※以下の設定条件はコントロールパネル表示方法が「大きいアイコン/小さいアイコン」でのもの。

測定法 a <条件>

- (1)「映画とテレビ」にて、JEITA2.0 測定用動画(格納場所:内蔵 HDD<C:¥Video フォルダ>)を再生する。
- (2)プレイヤーの音量を「ミュート」に設定する。
- (3)リピートを「オン」に設定する。
- (4)再生状態で 15 分放置後、AC アダプタを抜いて測定を開始する。

測定法 b <条件>

- (1)2 時間放置後 AC アダプタを抜いて測定を開始する。

測定法 a、b <共通条件>

■設定 1：事前準備を行う

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

パソコンをご購入時の状態に戻す。

■設定 2：BIOS 関連の設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

起動時の「FUJITSU」ロゴ画面で「F2」キーを押下し BIOS メニューを起動する。

- (1)「Internal Device Configurations」にて、以下以外の項目をすべて「Disabled」に設定する
・Wireless LAN

- (2)「Miscellaneous Configurations」→「Battery charging voltage」：「Normal voltage mode」に設定する

■設定 3：画面表示関連の設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

- (1)「個人設定」を、以下に設定する。

「ハイコントラストテーマ」：「ハイコントラスト 白」

「デスクトップの背景」：「白」

「スクリーンセーバーの設定」：「なし」

「デスクトップ アイコンの設定」：アイコンのチェックをすべて外す

- (2)デスクトップに表示されているアイコンについて表示しない状態にする。

- (3)「設定」→「システム：ディスプレイ」→「ディスプレイの詳細設定」→「プロパティを表示」→「モニター」タブで
「画面のリフレッシュレート」を最小の値に設定する

■設定 4：画面表示関連の設定(2)

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

- (1)「Intel(R) Graphics Control Panel」→「電源」→「バッテリー駆動」にて「グラフィックス電源プラン」：「最長バッテリー駆動時間」に設定する。
- (2)ディスプレイ省電力テクノロジー：無効に設定する

■設定 5：タスクバーの設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

- (1)「タスクバーのプロパティ」→「タスクバー」タブ：「タスクバーを自動的に隠す」に設定する。
- (2)「タスクバーのプロパティ」→通知領域の「カスタマイズ」→「システムアイコンのオン/オフ」：すべて「オフ」に設定にする。
- (3)タスクバーのアイコン：「タスクバーからピン留めを外す」に設定する。

■設定 6：通知関係の設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

- (1)「設定」→「システム：通知とアクション」からチェックをすべてオフにする。
- (2)コントロールパネルの「セキュリティとメンテナンス」→「セキュリティとメンテナンスの設定を変更」にてグレーアウトされていないチェックボックスを全てオフにする

■設定 7：電源オプションの設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

- (1)「電源オプション」→「プラン設定の変更」を以下の様に設定する。
 - 「バッテリー駆動」：ディスプレイの電源を切る「適用しない」 / コンピューターをスリープ状態にする「適用しない」
 - 「電源に接続」：ディスプレイの電源を切る「適用しない」 / コンピューターをスリープ状態にする「適用しない」
- (2)「電源オプション」→「プラン設定の変更」の「詳細な電源設定の変更」を、以下に設定する。
 - (バッテリー/電源駆動共に同じ設定にする)
 - 「ハードディスク」→「次の時間が経過後ハードディスクの電源を切る」：「1分」
 - 「InternetExplorer」-「JavaScript タイマーの間隔」：「最大限の省電力」
 - 「デスクトップの背景の設定」→「スライドショー」：「一時停止」
 - 「ワイヤレス アダプターの設定」→「省電力モード」：「省電力（高）」
 - 「スリープ」→「次の時間が経過後スリープする」：「なし」
 - 「スリープ」→「ハイブリッドスリープを許可する」：「オフ」
 - 「スリープ」→「次の時間が経過後休止状態にする」：「なし」
 - 「スリープ」→「スリープ解除タイマーの許可」：「無効」
 - 「USB 設定」→「USB のセレクトティブサスペンドの設定」：「有効」
 - 「インテル(R)グラフィックスの設定」→「インテル®グラフィックス電源プラン」：「最長バッテリー駆動時間」
 - 「電源ボタンとカバー」→「カバーを閉じたときの操作」：「何もしない」
 - 「電源ボタンとカバー」→「電源ボタンの操作」：「何もしない」
 - 「電源ボタンとカバー」→「スリープボタンの操作」：「何もしない」
 - 「PCI Express」→「リンク状態の電源管理」：「最大限の省電力」
 - 「プロセッサの電源管理」→「最小のプロセッサの状態」：「0%」

「プロセッサの電源管理」→「システムの冷却ポリシー」：「パッシブ」
「プロセッサの電源管理」→「最大のプロセッサの状態」：「0%」
「ディスプレイ」→「次の時間が経過後ディスプレイの電源を切る」：「なし」
「ディスプレイ」→「ディスプレイ暗転時の明るさ」：「0%」
「ディスプレイ」→「自動輝度調整を有効にする」：「オフ」
「マルチメディアの設定」→「メディア共有時」：「コンピューターのスリープを許可する」
「マルチメディアの設定」→「ビデオ再生での品質優先」：「ビデオ再生での省電力優先」
「マルチメディアの設定」→「ビデオの再生時」：「ビデオ再生での省電力優先」
「バッテリー」→「電池切れの通知」：「オフ」
「バッテリー」→「バッテリー切れの動作」
 「バッテリー駆動」：「シャットダウン」
 「電源に接続」：「何もしない」
「バッテリー」→「低残量バッテリーのレベル」：「0%」
「バッテリー」→「バッテリー切れのレベル」：「100%」
「バッテリー」→「低残量バッテリーの通知」：「オフ」
「バッテリー」→「低残量バッテリーの動作」：「何もしない」
「バッテリー」→「省電源移行バッテリーレベル」：「0%」

■ 設定 8：画面の明るさの設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

画面の明るさ設定値 29(150cd)に設定する

■ 設定 9：ユーザーアカウント制御の設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

コントロールパネルの「ユーザーアカウント」→「ユーザーアカウント制御設定の変更」：「以下の場合でも通知しない」に設定する。

■ 設定 10：システムの設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

コントロールパネルの「システム」→「システムの詳細設定」を、以下に設定する。

- ・「詳細設定」タブ→「パフォーマンス」の「設定」→「視覚効果」タブ：「パフォーマンスを優先する」
- ・「システムの保護」タブ→「ローカルディスク(C:)(システム)」→「構成」→「設定の復元」：「システムの保護を無効にする」
- ・「リモート」タブ：「このコンピューターへのリモートアシスタンス接続を許可すう」のチェックをはずす。

■ 設定 11：セキュリティ関係の設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

(1)コントロールパネルの「Windows Defender ファイアウォール」→「Windows ファイアウォールの有効化または無効化」を、以下に設定する

- 「プライベートネットワークの設定」：「Windows Defender ファイアウォールを無効にする」
- 「パブリックネットワークの設定」：「Windows Defender ファイアウォールを無効にする」

■ 設定 12：サービスの設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

(1)コントロールパネルの「インデックスのオプション」→「変更」→「インデックスが作成された場所」→「選択された場所の変更」：すべてのチェックを外す

(2)「管理ツール」→「セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール」→「プロパティ」を、以下に設定する。
「ファイアウォールの状態」：「無効」

(3)「管理ツール」→「サービス」→「Windows Search」→「プロパティ」を、以下に設定する。
「スタートアップの種類」：「無効」

「サービスの状態」：「停止」

(4)「管理ツール」→「サービス」→「Windows Update」→「プロパティ」を、以下に設定する。
「スタートアップの種類」：「無効」

「サービスの状態」：「停止」

(5)「管理ツール」→「イベントビューアー」→「アプリケーションとサービスログ」→「Microsoft」→「Windows」を、以下に設定する
「Windows」フォルダ内にあるフォルダを開き、表示された項目：「ログの無効化」

※「Windows」フォルダ内にあるすべてのフォルダの項目について、「ログの無効化」を行う

■設定 13：タスクスケジューラの設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

コントロールパネルの「管理ツール」→「タスクスケジューラ」にて、アクティブなタスクに表示されているタスク：ステータスパネルスイッチ関連以外の変更可能なタスクをすべて「無効」に設定する

■設定 14：システム構成の設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

(1)「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「システム構成」→「サービス」で「Microsoft のサービスをすべて隠す」のチェックをつけた後、「FUJ02E3 Device Driver – Utility Service」以外のチェックを外す。

(2)「タスクマネージャー」の「スタートアップ」の「Realtek HD Audio Universal Service」以外を無効に設定する。

■設定 15：無線 LAN 関係の設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

パソコンを外部ネットワークに接続されていない無線 LAN アクセスポイントに接続した状態とする。

その他の無線(Bluetooth や WWAN など)については設定なし(BIOS メニューで Disable)

■設定 16：ディスクのデフラグの設定

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

「ローカルディスク (C:/D:/...) のプロパティ」→「ツール」→「最適化」にて「スケジュールされた最適化」をオフに設定する。

■設定 17：バッテリー節約機能

<ARROWS Tab Q5010/DE、Q5010/DB>

「設定」→「システム」→「バッテリー節約機能」にてバッテリー節約機能の設定から

自動的にオンになるバッテリー残量を 100%に設定し、節約の機能がオンの時に画面の明るさを下げるのチェックを外す

その後、バッテリー駆動状態にしてからバッテリー節約機能の状態をオンに設定する